

御意見をいただきたい項目

1 出展の基本的考え方

農林水産物の輸出力強化に取り組んでいる中で、花きについては平成31年の輸出額150億円を目標としている（平成29年の実績は135億円）。

2019年北京国際園芸博覧会での屋内出展は、国産花きや花きの文化を中国をはじめ世界に向けて発信する重要な機会であり、中国を中心とした各国への輸出の拡大を目指すべきである。

また、外国からの訪問客の中で中国からが最も多く、また訪れたい国の一位が日本となっているなど日本に対する関心は高い。このような中で、日本の花きと花き文化の多様性と奥深さを表現することにより、来場者がそれぞれにとっての日本の花きに対する魅力を発見し、関心を更に高めてもらうことが重要である。

○ 出展の基本的考え方についての御意見

（基本的考え方の例）

- －輸出拡大に繋がる多様で高品質な国産花きの魅力を発信する。
- －日本の生活の様々な場면을演出している花きの多様性を発信する。
（和の空間を演出する花き、洋の華やかさを演出する花き、安らぎを演出する花き）
- －生け花、盆栽、門松、花見、紅葉狩り等我が国が世界に誇る豊かな花きの文化を発信する。

2 出展テーマ

屋内展示は、6ヵ月に及ぶ会期中に、各国が出展する国際園の中の2,550㎡の区画に、約400㎡の屋内展示施設を整備して、日本庭園の展示と一体的に行うものであり、屋内出展のテーマを設定し、主催者と来場者に明確なメッセージを伝えることが重要である。

テーマ設定に当たっては、

- ・ 博覧会の全体テーマ「緑の生活 美しいふるさと」、日本国出展委員会で議論された「Japanese Green Lifestyle」と整合性があること及び
- ・ 我が国の花き産業・花きの文化の魅力が表現されるとともに、来場者が我が国の出展スペースに引きつけられるような訴求力の高いテーマであることが重要である。

○ 出展テーマの設定に際して盛り込むべき視点についての御意見

(考えられる視点の例)

- －日本の生活の様々な場面を演出している花きの多様性
- －環境に優しく持続的な園芸技術
- －我が国が育ててきた花き及び花き文化の変遷
- －花や緑に親しみ、情操を育む「花育」

3 **展示・催事等の内容と方法**

展示・催事等を輸出拡大に結びつけるためには、政府展示と民間企業等、花き関係団体、地方公共団体が行う展示を効果的に組み合わせ、例えば、明確なテーマやストーリーを設定して、来場者の記憶に残るものとするとともに、事業者にとっても日本産花きの魅力が十分に伝わるように取り組むことが重要である。また、個々の展示が積み重なることで、出展テーマが浮かび上がるように全体を構成することも重要である。

○ 展示・催事等の内容と方法についての御意見

(展示・催事等の内容と方法の例)

① 展示

- －花きの展示とともに、花きの文化について実物や写真、映像等の様々な媒体を活用して発信する。
- －「発見」「体験」により来場者の記憶に残る工夫を行う。
- －花き及び花きの文化についての展示は、花き以外の我が国の文化を関連づけた演出を行う。
- －不特定多数の来場者が訪れることから、展示品の知的財産権等が確保されるように配慮する。

② 商業的活動

- 例えば、以下の取組により、出展を通じた輸出拡大を意図する者（輸出に意欲の高い者）が出展したくなるような仕掛けを設ける。
- －商業スペース（特別規則では展示面積の2割又は100㎡以内）や商談スペースを確保するとともに、Eコマースのノウハウ等を提供し、出展者の商業活動を支援する。（スマホでの決済の他に提供が望まれるノウハウはあるか。）
 - －インフォメーションカウンターで収集した現地バイヤー等関係者の情報をとりまとめ、希望する出展者に提供する。
 - －我が国と中国の花き業界の関係強化とビジネス拡大を目的とする意見交換会を開催する。

③ 催事

- －両国の花きと花き文化についての意見交換、日本の伝統的な花き等の文化を広く紹介するプログラムを実施する。
- －開会式、閉会式、ナショナルデー等に合わせて行う催事では、華道、茶道、盆栽の剪定、日本庭園の刈り込みなどの日本の花き文化の演出等を行い、来場者の記憶に残る工夫を検討する。
- －催事に関しては、中国（北京）在住の日本人が多く所属する団体や現地のコミュニティ等と連携し、ボランティアなどの協力を求める。

4 広報、啓発活動

○ 効果的な広報・啓発活動方法についての御意見

（広報・啓発活動の例）

- －開会前は、
 - ・インターネットや園芸雑誌等を通じた国内向け広報とともに、
 - ・海外向けに、展示内容等の中国語、英文HPでの紹介、中国や海外の雑誌、新聞への掲載等を実施する。
- －会期中は、日本の展示・催事等の様子、現地でのトピックス、品種コンテストの結果等をマスメディアに積極的に情報提供する。
- －政府出展の総合窓口となるインフォメーションカウンターを設け、来場者への情報提供やサービスを実施する。
- －日本の各地から出展されることから、地方テレビ局や新聞等マスメディアへの情報提供に配慮する。
- －ブログやSNSなど双方向のメディアを活用する。
- －会期終了後もコンテスト受賞作品の情報等を提供する。

5 屋内出展事業の進め方

屋内出展事業は、委託事業として実施する予定。

○ 事業の進め方に対する御意見

① 屋内展示施設の整備

（基本的な項目）

- －広さ400㎡程度（うち事務スペース100㎡程度）、高さ4.5m程度
- －展示花きにとって適切な環境（採光、空調、換気）
- －展示品の入れ替えが容易な構造（搬入口、掃除が容易な床）
- －屋内展示のレイアウト、変更が容易であること
（インフォメーションカウンター、商談スペース、販売スペースの確保が可能なものとする。）
- －スムーズな来場者の動線（日本庭園の動線も考慮）

- －建築に関する中国の規制に適合していること
- －バックヤードの設置（コンテナ、ビニールハウス）
- （日本庭園と一体となって調和のとれたものとするための項目）
- －日本庭園と一体感があり、来場者を引きつける外観（和風モダン等）
- －日本庭園を生かした眺め

② 屋内展示実施計画の策定等

基本方針の策定後、屋内出展実施計画の策定を進めるとともに、政府出展の狙い等を広く周知し、出展、コンテストへの出品、P R用花材の提供等を促す。

（実施計画に盛り込む内容例）

- －政府展示、一般展示の内容
- －コンテストへの出品の促進方法
- －催事（オープニング、J A P A Nフェスティバル、クロージング、ビジネス意見交換会）の内容
- －花材の調達、輸送、展示方法（試験輸送の実施、輸送マニュアルの作成（検疫等に係る取扱の整理を含む））
- －パンフレット（来場者用、事業者用）
- －広報（各種媒体の利用、ホームページ開設）
- －花き専門スタッフの募集と研修
- －運営体制（現地事務所、専門スタッフ）
- －各種展示の運営方法（政府展示、一般展示、コンテスト、輸出P R用花材展示）
- －接遇